

## タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年3月14日（土）午後2時～3時30分  
会 場 上福岡五・六丁目自治会  
参加者 47人

### 主な意見等



参加者 上福岡駅のことなので市でどうこうできるかはわかりませんが。ココネ付近は非常にきれいになったのですが、駅自体が古くて汚い印象があります。せつかく若い方たちが集まりはじめていますのでますます住みたいまちになるようにしてもらえれば良いのではないかと思います。

市 長 駅というのはまちの玄関口だと思っています。西口はお話のとおり再開発で綺麗にし、東口も暫定的にですが整備をやりました。私も駅をなんとかできないかと考えていまして、ちょうど今月東武鉄道に行って話をしてきました。しかし建て替えなど、東武鉄道はあまりお金を使いたがらないようで苦慮しているのが現状です。

ふじみ野市は県内3位の人口増加率でして、特に若年層が増えています。また、高齢化率(65歳以上の人口)も23.7%と介護や医療などお年寄りを支えていく体制が整っています。こうした好条件に加えて、更にこの街に住みたいと思っていただくにはやはり駅のイメージは重要ですので今後力を入れていきたいと考えています。

参加者 集会所の部屋を畳(和室)から床とテーブル(洋室)にしたいです。西集会所はトイレなども綺麗ななので同じように改修し

てもらえればと思います。

市 長 制度として、建てる時の補助金はありますが改修費用の補助というのがありません。基本的には自治会の予算の中で、ということになっています。ただ、町会のお金にも限りがありますので、市としてもなんとか協力していけないかと考えています。

参加者 市の財産が好転しているとのことですが、こういった工夫をされたのかお聞かせください。

市 長 まずはコストカットのため合併時に諸々の調整をしました。合併当時800人以上いた職員数も現在は620人くらいです。これは年度によっては採用数を0人にするなどして、採用を抑制したことで実現しました。こうした人員の適正化は市の議員についても同じです。これは民間なら当たり前にやっていることですから。

また、組織の質の向上にも取り組んできました。会議では意見が一方的になることを避けるため敢えて私からは意見を言わず、新しい発想を職員から出させるよう促しました。もちろん窓口等のサービスの向上にも努めました。対応が悪くても市役所は必ず行かなければいけない場所ですから。ただ、役所も経営だという感覚が必要だと思っていますので、そうした現状に慢心せず、民間と同じようにやるように言ってきました。行政の常識は市民の非常識というのは私が職員に常々言っていることでもあります。

そして、電気や紙の再利用など、それぞれの部署が節約も心がけています。庁舎の汚れへの気付きなど小さな意識の改善を積み重ねたことも組織を良くした一因であると考えています。

参加者 市の活性化についていかがお考えでしょうか。企業誘致などまだまだ土地を活用する余地があるのではないのでしょうか。

市 長 今年は企業誘致に向けた調査活動を行います。旧大井エリアは関越自動車道の向こうを工業系の土地として利用する予定です。旧上福岡エリアでは254バイパス付近のエリアに企業誘致をしたいと考えています。現在、県にも都市計画の見直しを提出しているところ

です。

ただ土地利用は農家の人との話し合いが重要です。今後、農家の方には農業を続けるかどうかの意向調査等を行う予定です。それを受け、やりたい人を集約し、残ったエリアを有効活用というように考えています。

隣の富士見市にはららぽーとができることもありますし、ふじみ野市も地元雇用や財源確保に向けて動いていかななくてはと考えています。埼玉県は企業誘致に積極的なのでこれとタイアップしてやっていきたいと思います。

また、新日本無線後地はイオンが開発予定となっています。こちらは出店するなら地元協力としてランニングコースや保育所を作るようお願いをしました。いずれにせよ企業誘致は地元にも恩恵があるように、という方針で進めております。

参加者 道路の電球についての意見です。以前、西公民館前の通りはかなりきちんとした電球があったのですが、商店街が衰退してしまって維持する側が減っているのが原因でしょうか、今は半分しかついていません。町内会で取り替えてと言われてもなかなか予算がないのが現状です。市も地権者の関係等で動きにくいとは思いますが、防犯・防災という観点からもぜひ付けて欲しいです。まずは実際見てもらって、随時改善をしていってほしいと思います。

市長 商店が減ってしまい、1軒あたりの維持費用が大きくなっている状況かと思います。街路灯は商店街のためはもちろん、歩行者のためという意味もあります。それもあって現在、街路灯の電気費用は100%市が出しているのですが、球切れなどは商店街で負担してもらっています。商店街の負担する維持費用を減らせないかと現在LEDに移行しはじめている最中です。今後、各箇所の状態を把握して対応していこうと思います。

参加者 保育園の廃止が新聞等にも出ていますが、そのあたりのお話を聞かせてください。

市長 この件は保育園の耐震診断が発端となりました。「500㎡以上2

階建て」というのが、国が設ける耐震診断を受ける建物の基準ですが、それに満たない施設も含めて全園を調べたところ、2園の耐震性に問題があることがわかりました。待機児童数については今後新たに3園作る予定があるため大きく減らせています。また、廃止となる西保育所と亀居保育所の子どもたちも希望通りの保育所に移ることができました。

また、コストの面ですが、廃止になる2園は40年以上前の建物であるため、改修しようとするのと新たに建てるのと同じくらい費用がかかってしまいます。また、今は建築も運営も公立の保育所には補助金がでません。そのため、民間と公立とで子ども1人をお預かりするコストに大きな差が出ています。そこでこれ以上公立保育所は作らず民間に移行していこうということになりました。

そして何よりもまずは、安全なところに移ってもらうということです。ふじみ野市は平成18年のプール事故の教訓を忘れてはいけません。大切なお子さんをお預かりしている以上耐震性は決して無視できない要素だと考えています。

また、ふじみ野市は子育て優先の政策をすることで若い人たちの流入が増えている自治体です。公立小学校のエアコン設置、ICT教育なども、ふじみ野市は県内トップレベルです。公立の学校ならふじみ野市という流れにしていきたいと思っています。一例として、三角小学校などは改修計画が立った時点で学区の住民が一気に増えました。子ども優先の政策効果が確実に出ていますと実感しています。

子ども優先を押し出し過ぎると老人会から心配の声が上がるかも知れませんが、まちも家庭と一緒に考えています。子どもを大事にすると結局はお年寄りにも返ってきます。今後も世代や地区の関係なく市が一体となって支え合うまちづくりをしていきたいと思っています。

参加者 75歳以上になって介護保険を払っていてもあまり医者に行かない丈夫な人がいます。市がそういう人に商店街の商品券をあげるのでもいいので、何か元気が出ることをしてはどうでしょうか。そうすることで自己管理の気持ちもわいてくるのではないかと思います。

市長 素晴らしい提言だと思います。国保・介護はみんなで支えあっているものです。医療費を使わなかった人に何らかの報奨があってもいい

いとは思いますが。ただ、国保や介護保険は徐々に基準額を上げるなどしてどうにかやりくりをしているのが現状です。おっしゃったような制度は理想的ですがなかなか実現が難しいのが残念なところではあります。

参加者 お金や物ということではなく、元気に地域へ貢献しているお年寄りを目標と感じ、また支えていけるような雰囲気づくりが大事だと思います。

市長 まさにおっしゃる通りです。今後もそのようなあったかいまちづくりをしていければと思っています。

参加者 昨年、一昨年と夫が4回救急車をお願いしました。そこで来てくださった救急隊員の方が家族にもできないような手厚い対応をしてくれました。皆さんにとっても感謝していますので、どうか担当の方にこの気持ちをお伝えして欲しいと思います。

市長 しっかり伝えます。そういったお声が励みになると思います。

参加者 公民館が民営化するという噂を小耳にはさんだのですが、実際そのような予定はあるのでしょうか。

市長 現状ではその予定はありません。ただ、上福岡図書館は指定管理者制度が始まり、民間に運営してもらうこととなります。経費を落としサービスを高めるのが目標です。これにより開館時間が延び、休館日が減る予定です。まずは上福岡図書館を民営化しますが、市の運営が続く大井図書館でも同質のサービスができるようにしていくつもりです。

民営化については、ゆくゆくは公民館もと思いますが、いずれにしても市がしっかり監督していくことが大事だと考えています。

参加者 国の交付金によるプレミアム商品券が話題になっていますが。ふじみ野市の予定はどうなってますでしょうか。

市長 地方創生ということで国から交付金がきています。約3億円発行

で3割がプレミアという予定です。これは商工会に委託をして9月頃に発行事業を行うつもりです。

また、子ども優先政策の一環として多子世帯に、2人で4,000円、3人で8,000円の商品券をお送りするというのも考えています。

参加者 来年度総合戦略の策定となりますがそれについてどのような取り組みを考えていますか。

市長 総合戦略策定に向けて審議会を立ち上げる予定です。大枠として、ふじみ野市は首都圏にありながら人口増加もしているので、いわゆる「地方都市」の総合戦略とは違って来るだろうと考えています。  
また、基礎自治体だけでなく国の方とも連動して政策を進めていかなければ地方創生は実現しないのではないかと考えています。

参加者 策定を作るにあたっては民間の方も交えてということでしょうか？

市長 その通りです。作る体制としては民間の方々にもご参加いただいて、そのうえで作っていきます。